

海と共生する

平成23年10月7日

気仙沼市中心市街地の新たなまちづくり



気仙沼復興商店街会長・南町夢通り会長・南町二区自治会長	村上力男
南町一区自治会長	千葉秀宣
南町三区自治会長	鈴木武雄
南町夢通り副会長	齋藤 宏
南町粕崎青年会長	坂本正人
気仙沼市復興協会理事長	小野寺幸雄



復興に対する 南町の 重要な視点

- 地震および津波を、**自然現象**として捉える。
- 科学技術の進歩を期待して**自然と共存**する。
- 復興は**自立**を主とし、**行政**はこれを**支援**する。
- 津波**リスク**を受け入れ、**防潮堤**に頼らない！。



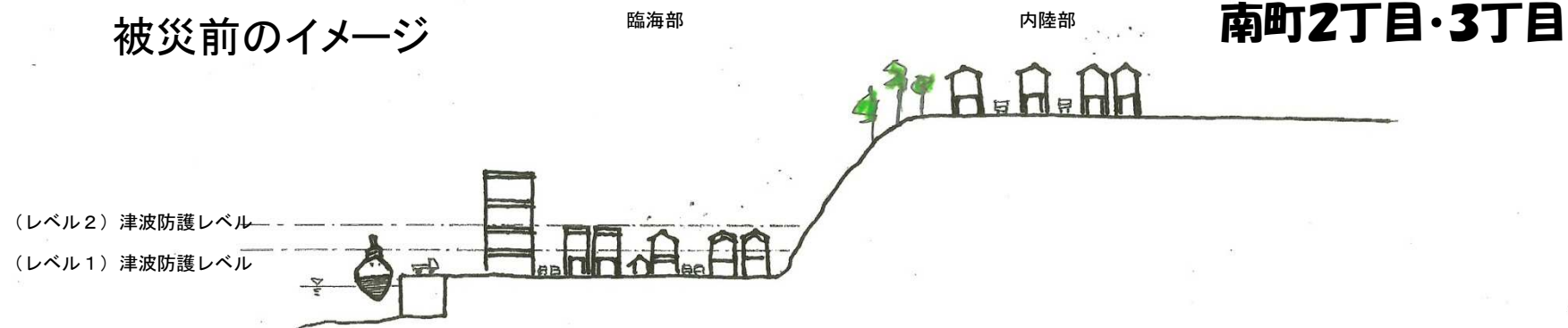
南町復興の基本的な考え方

- 地震や津波は自然現象であり、津波リスクを受け入れ、今まで居住・営業していた地域で活動できるようにする。
- 地元住民の望む方向を具現化した地域復興地図をつくる。
- 地盤が60cmから70cm沈下しているので嵩上げをする。その土材料は海岸沈下地域の一部掘削土（埋立土）および被災残壊物であるがれきを用いる。
- 防潮堤をつくらずレベル1の津波から生命と財産を守るためには、宅地・商業地の地盤の嵩上げやデッキ構造の人工地盤をつくる。
- レベル2の津波から生命を守るためには、建物基盤面が十分に高くない場合には、地下シェルターを持つ住宅や中高層階の耐浪性を備えた建物を建設する。
- 復興に当たりできる限り、地域からがれきや土砂を持ち込まない、持ち出さない。
- 商業地でありながら高齢者などが暮らせる場所、歩いて買い物ができる便利な中層階・高層階の住宅ビルも併設し、医療も含めて生活に必要なものがすべてそろう住みやすい町をつくる。
- 今後の観光資源の高度化（品質確保）を計るために気仙沼ブランドの確立と緑と海の空間を拡充する。
- 今後の同地域の資源を生かすためには、現在の立体駐車場を撤去して自然と一体型の共同駐車場（嵩上げ地盤内や盛土内）を設ける。
- 特徴のある街並みをつくり、若者向けとファミリー向けの観光資源を創造する。
- 高速道路・鉄道はもちろんのこと海路を利用した新たな仙台からの高速船などの運航を確保する。

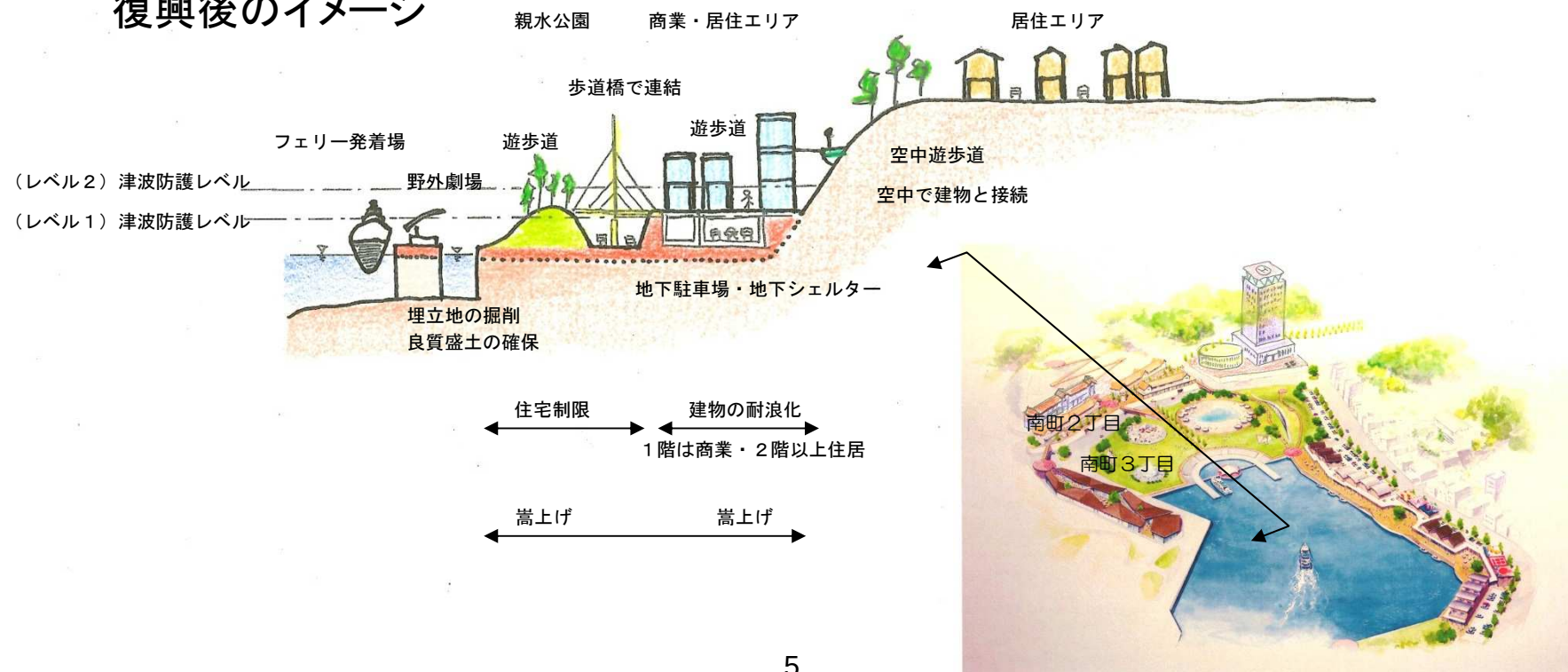
南町・魚町のイメージ図



被災前のイメージ



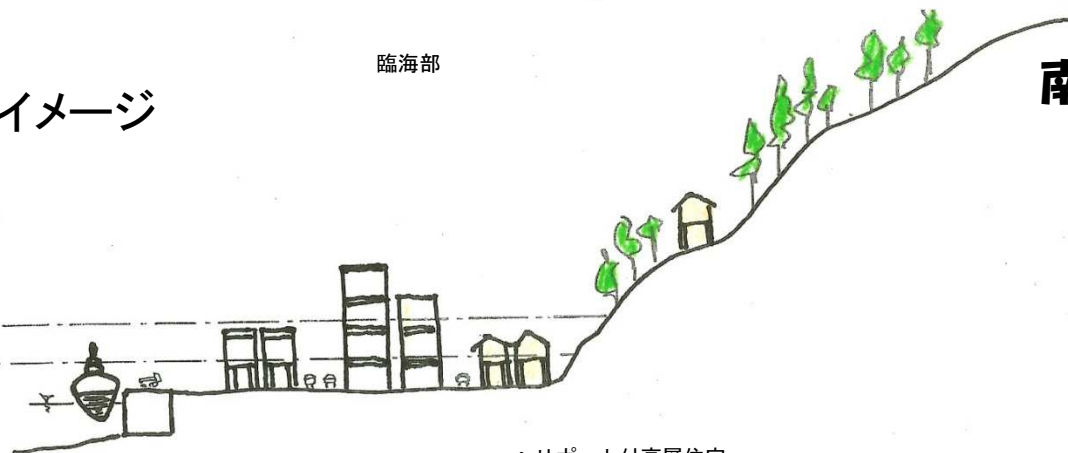
復興後のイメージ



被災前のイメージ

(レベル2) 津波防護レベル

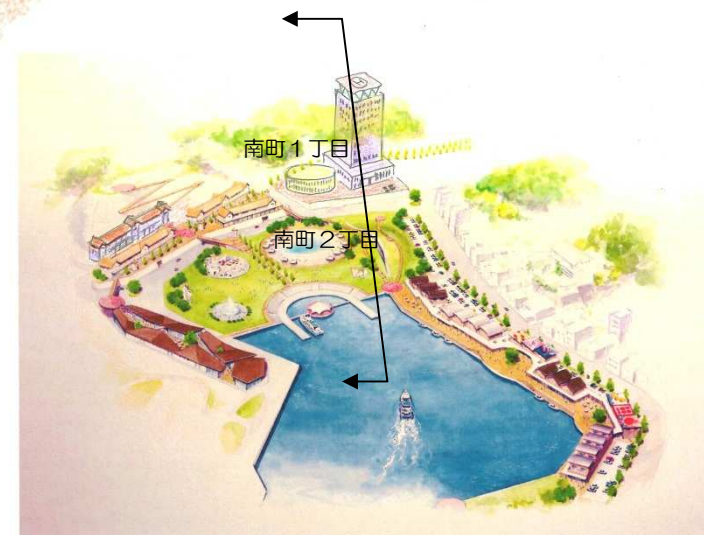
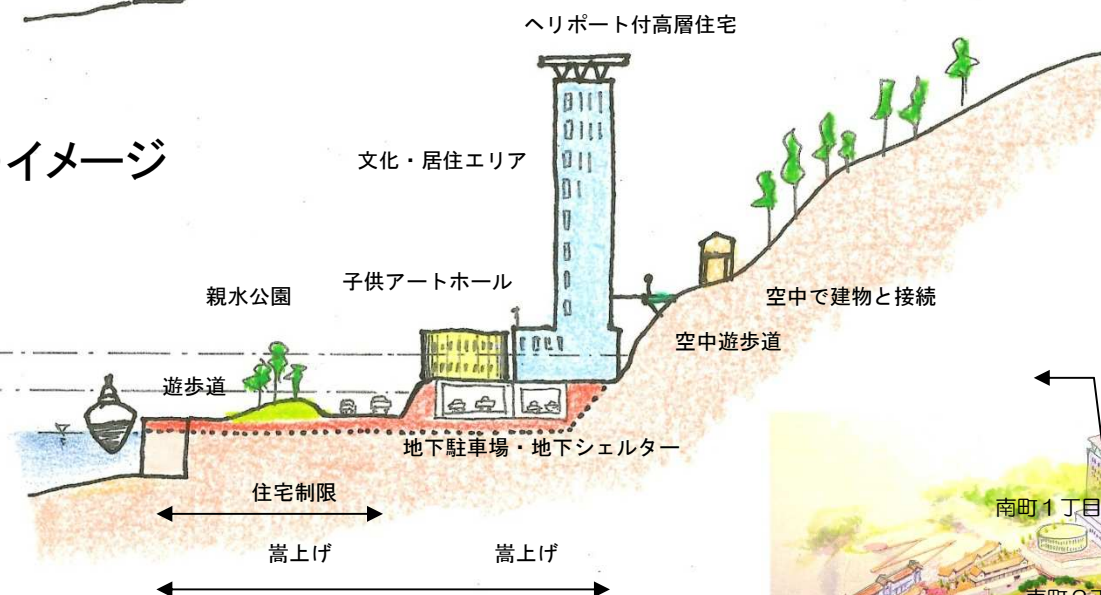
(レベル1) 津波防護レベル



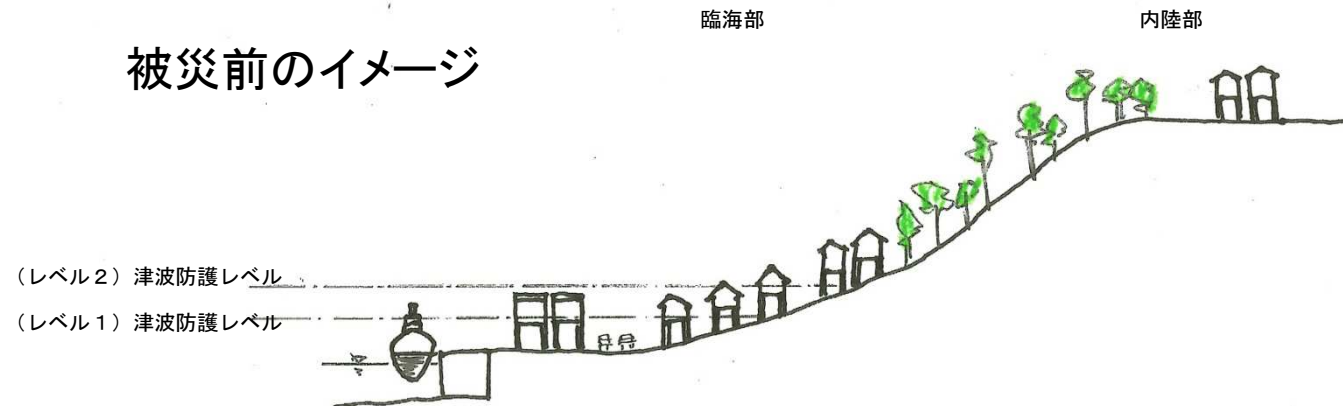
復興後のイメージ

(レベル2) 津波防護レベル

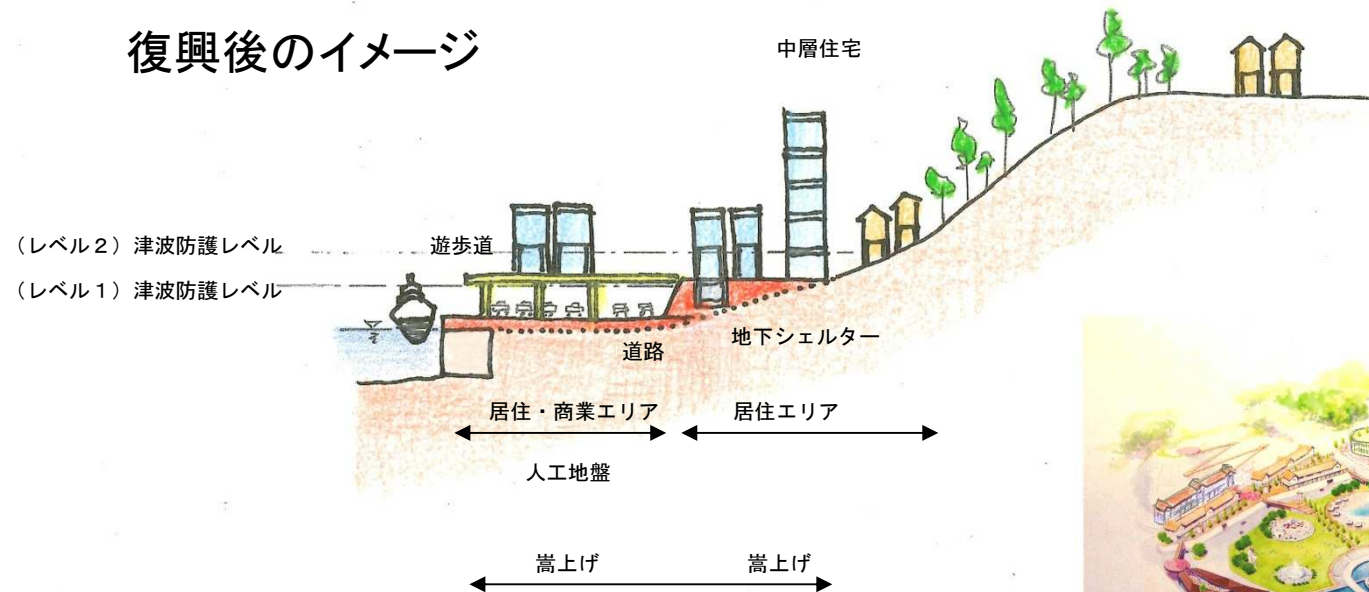
(レベル1) 津波防護レベル



被災前のイメージ



復興後のイメージ



南町・魚町のイメージ写真



グルメ高級飲食街



野外ステージ

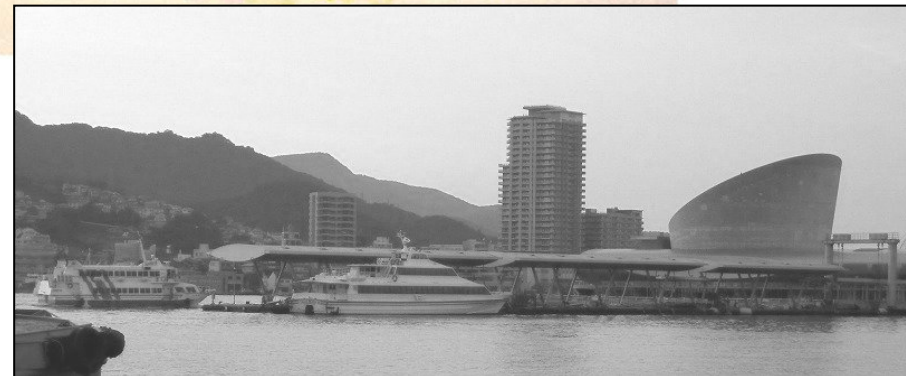
ペDESTリアン
デッキ



屋台村



遠景



活動の記録

平成23年

- 5月5日： 第1回現地踏査・南町地域懇談会
- 5月11日： 第1次企画案提出
- 5月18日： 第1回チーム会議
- 5月25日： 第2回現地踏査・南町地域懇談会
- 6月1日： 第2回チーム会議
- 6月6日： 第2次企画案提出
- 6月7日： 気仙沼市役所訪問
- 6月10日： 第3回チーム会議
- 6月18日： 第3回現地踏査・南町地域懇談会
- 7月15日： 気仙沼市役所訪問、第4回現地踏査・南町地域懇談会
- 7月21日： 第4回チーム会議
- 8月9日： 気仙沼市役所訪問、第5回現地踏査・南町地域懇談会
- 8月18日～19日： 第6回現地踏査・南町地域懇談会
- 8月18日～21日： 映像記録チーム取材
- 8月20日： 第3次企画案提出・第5回チーム会議、第7回現地踏査・南町地域懇談会
- 8月27日： 南町・魚町・八日町三町懇談会
- 8月28日： 第8回現地踏査・南町地域懇談会
- 8月28日： 南町・魚町・八日町合同ワークショップ
- 9月1日： 第4次企画案提出・第9回現地調査・南町地域懇談会
- 9月16日： 第6回チーム会議
- 9月18日： 第9回現地踏査・南町地域懇談会
- 9月24日～25日： 映像記録チーム取材
- 10月1日： 第5次企画案提出

気仙沼南町・魚町を支援している事業とチームの紹介

東北工業大学 新技術創造研究センター「地域復興のための共同プロジェクト」事業
プロジェクト名：気仙沼市南町および南町海岸復興プロジェクト
主たる研究室：東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科 地域共同研究室
研究代表： 教授 今西肇（都市マネジメント学科、地盤工学、プロジェクトマネジメント）
 imanishi@tohtech.ac.jp, 022-305-3550
研究参加者： 准教授 猿渡学（経営コミュニケーション学科、映像）、
 准教授 菊池輝（都市マネジメント学科、都市の交通心理）
 講師 福屋粧子（建築学科、住環境、まちの景観）
コーディネータ： 菅原玲（新技術創造研究センター）
 r.sugawara@tohtech.ac.jp, 022-305-3800